

LLサイズの無花果

20年8月26日

和田 宏

先ず写真を見てください、重さは300gr通常のイチジクの4倍位です、遺伝子組み換えをやったのではないか？いいえ唯の白イチジクです、昨年から庭の木に生る様になりました、偶然にと言えば偶然です。

無花果に関しておさらいをして見ましょう、落葉樹で当地浜松では、春に新芽が30cm位伸びた頃花を見せずに実を付けて8月から10月まで熟した頃に食用になる、皮を剥いてジャムにしても美味しい。

気をつけることは、

- 1、 雨の直後は味が落ちるので収穫を控える。
- 2、 ヒヨドリや夜行性のハクビシンの好物であるから狙われたら被害甚大、ハクビシンは犬がいれば大丈夫のようです、センサーライトも少し効果あり。
- 3、 春から夏に掛けてカミキリムシの幼虫（鉄砲虫）が幹を食い荒らす、対策は注射器でスミチオン1000倍液を穴に注入する、液漏れ防止はティッシュペーパーを濡らした紙粘土で充分である。
- 4、 枝は良く成長するので思い切って剪定して毎年同じ高さに実を付けさせる栽培法が広く行われている。

果物屋さんの無花果は赤紫色で中も赤く舌触りは少しザラザラしている、白イチジクは色が薄く熟すると透明感があり、舌触りが滑らかで甘い、ドライフルーツのコーナーではトルコ産の白イチジクが並んでいるからあちらでは白イチジクが好まれているのかも知れない、

偶然は予告無しに訪れました、古希を過ぎ万事やることが遅くなり、終に無花果の剪定に手が回らなくなったことが引き金になった、秋の剪定を省略すると前述の「春に新芽が伸びた頃」が「春に芽が出ると同時に」実を付けるのである、そしてLLサイズに成長する、熟すのは6月下旬梅雨の最中であるから収穫のタイミングは微妙である、即ち、早すぎれば水っぽく遅ければ割れて腐ってしまう、残念ながら露地栽培では、上手く美味しく収穫できるのは数個に一個である。しかし普通サイズの実はその後を追っかけるように生りますから、LLサイズの実はおまけです、ご興味を持たれた方は部分的にでもお試しください、枝を2-3本剪定しないで残せば生ると思います。

以上



写真 1、着果状況、2008.5.4 撮影



写真 2、熟したイチジク、お皿の直径は 17 c m です (2007.6.29 撮影)。